

高圧ガス

JOURNAL OF THE HIGH PRESSURE GAS SAFETY INSTITUTE OF JAPAN

高圧ガス保安協会 (KHK)

昭和50年6月7日 第三種郵便物認可
平成20年5月1日 毎月1回1日発行
通巻458号

2008
Vol.45
ISSN 0452 -2311
CODEN:KOGAA2

5

特集

回転機の保全

回転機の新しい診断技術

化学プラントの回転機器におけるCBMの取り組み ほか

トピックス

低速回転機械の最新診断技術および最新型診断装置



現在、4頭のラブラドルレトリバーを飼っている。親子3代で、初代は8歳のメス、2代目はその子でメス、3代目は2代目の子でメスとオス。それ以外にも8歳のシーズー、6カ月の黒猫、さらに2羽のウズラがいて、右を見ても左を見ても動物だらけだ。

愛犬というと、子供の頃の出来事が昨日のように思い出される。その頃、“コロの物語”という小犬の話がNHK(ラジオ)で放送されていた。この物語を夢中になって聞いていたのが高じて、ある日、雑種の小犬を拾って帰った。もちろん母親からは拾ってきた所に戻してくるようと、きつく言われた。どうしても捨てることができず、近くの材木置場に巣を作って、隠れて食べ物を運んでいた。コロと名前を付けて可愛がっていたが、コロはおなかがすいていたのだろう、ある日、隣の家の魚を盗み食いしてしまった。これで飼っていたことが分かっしまい、手作りの首輪を付けたコロを泣きながら捨てに行った悲しい思い出だ。

8年くらい前に、ちょっとしたきっかけから警察犬の訓練を始めた。警察犬には3種類あって、それぞれ警戒、追及、臭気選別の仕事をするように訓練されている。

室内 介助犬 の 仕事 に の 育成を 終生

株レザック
代表取締役
柳本 忠二

警戒犬は犯人逮捕や重要な物を守るときに働き、追及犬は逃走犯人の追跡や行方不明者の捜索が専門である。選別犬は麻薬捜査や隠匿物質の発見などで活躍する。私の愛犬は臭気選別犬だ。3種類とも基本的な服従訓練は同じに受けるが、その後は犬種と個性に合わせて能力を伸ばしていく。

長年にわたり犬と一体となって訓練に汗を流してきた。その甲斐あって、2代目のラブラドルが中部日本、西部日本、奈良など数々の大会でチャンピオンになるまでになっている。私にとっても、訓練のために夕方は早く帰り、早起きをして犬と一緒に走るのも健康

にたいへんよい。

最近の関心は、室内介助犬の訓練に向かっている。盲導犬や車椅子の人の介助犬は室外での仕事が主なものに対して、室内介助犬は外に出られない寝たきりの人の相手をするのが仕事だ。動けない人に犬が物を持ってきたり、遊び相手になったり、話し相手になったりする。不思議なことに犬は目でものを言う。

私の母親が年老いてボケていくときに、いかに愛犬が人の役に立つかを身をもって知り、数社の会社経営から引退した後は室内介助犬の訓練を終生の仕事にしていこうと決めている。寝たきりになっている人、あるいはそれに近い人に少しでもうるおいを与え、人生を有意義に過ごしてもらいたいと思うからだ。

訓練施設を開こうと奈良県に土地を購入した。昨年12月には愛玩動物飼養管理士、今年1月には愛犬飼育管理士の資格も取得した。訓練所の工事も着々と進み、訓練士も2人入所した。また、介助犬と電子機器を組み合わせた新たな介助犬システムの特許も申請している。ゆくゆくは社会貢献団体の資格も取得し、人に役立つ介助犬を継続して提供していくのが私の夢だ。